

ひゅ〜まん

秋田県北部男女共同参画センター

開館時間

平日 9:00~21:00

土日祝 9:00~17:00

休館日

木曜日・年末年始(12/29~1/3)

開館20周年 これまでの感謝と これからの未来へ

20周年イヤーを無事に終えることが出来そうです。これも、多くの方々がセンターを利用してくださっているお陰です。本当にありがとうございます。

振り返れば、たくさんの出会いとたくさんの別れがありました。せっかく出会えたのに、離れるのは寂しさもありますが、いつも前向きな笑顔があったように思います。次のステップに進む皆さんの活躍を願いつつ、センターも様々な発信をして学びの場、出会いの場、活動の場となっていくよう努めてまいります。これからも、共に明るい秋田を作っていきましょう！



1月28日（土）三種町と共催で男女共同参画社会づくり基礎講座を開催しました。今年度、三会場目となる「ジェンダーカフェ」、三種町では寒波が来ていたタイミングと重なってしまったにも関わらず、定員を上回る参加者が集まり、ジェンダーや生きづらさについて考える時間になりました。講師の高坂翔氏（あきたF・F推進員）は機会の平等と結果の平等について触れジェンダーの基礎的な部分を重点的に説明してもらいました。菊地陽介氏（あきたF・F推進員）は自らの体験談を交えながら生きづらさを抱える人が自分らしく生きる方法について紹介しました。

情報提供後には、あきたF・F推進員（工藤昭子氏・加賀谷七重氏）がファシリテーターとなり4つのグループに分かれて感想や意見交換をする時間を設けました。アンケート結果では「自分の当たり前が誰かの当たり前ではないことに気づきました。これから考えていこうと思います」「私は男性なので、男性の生きづらさに共感できる部分が多かった。女性の生きづらさについても知りたいと思いました。」と、講師お二人の話の中から、多くの気づきを得ることができました。



2月18日（土）女性たちの健康について考える講座「現代女性の健康とキャリア」を北部センターの研修室とオンライン上と中央／南部センターのサテライト会場をつなぎ、ハイブリット形式で開催しました。講師は株式会社menopeerからケアガイド（看護師・キャリアコンサルタント・メノポーズカウンセラー）の加藤久美子氏に出演していただきました。「月経、PMS、更年期について知らなかったで後悔しないために」をテーマに年齢ごとに起きる身体の変化やホルモンの影響について詳しく説明がありました。

加藤氏は、キャリア形成を考える上で、女性の健康は大きな課題であることに触れ「地方は専門医が少なく、きちんとした診断がされないまま、なんとなく不調を抱えて過ごす人が多い。個人の問題として捉えがちで、我慢しながら働き続けるのは生産性の低下が起き、とくに管理職世代になり体調不良が原因で離職するなど、企業にとって大きな損失です」と、健康への意識の高さがいかに大切かを伝えてくれました。後半のQ&Aセッションでは、代表取締役の木村琴子氏が登場、事前に受けていた質問を紹介し、加藤氏とセッションをしました。

アンケートからは「知っているようで知らないことがたくさんあり、とても勉強になりました」「黄体ホルモンがイライラの原因ということなので、家族にも説明して協力を得ようと思います」「お話はもとより、この時間に心癒され穏やかな気持ちになりました」と、リモート出演にも関わらず、距離感を感じさせない雰囲気、自らの生活を見つめ直す時間となりました。



株式会社menopeer 加藤久美子さん（左）木村琴子さん（右）

2月25日、北部男女共同参画センターを会場に男女共同参画トークイベントを開催しました。地域で活躍する3名をゲストに迎え、秋田を拠点に自分らしい生き方を模索する方法を学びました。ギュッと詰まった30分ずつのマイストーリーを少しですが紹介します。

株式会社TOMUSHI 代表取締役COO 石田 健佑 氏

東京で起業したが失敗し21歳で祖父母の住む大館へ戻ってくる。1年間、人生を見つめ直す機会と考え自由に過ごしている中でカブトムシに夢中になり、これを仕事に出来ないかと兄弟で飼育・販売する会社を立ち上げた。失敗しても成功の素と思い、とにかく好きなことを続けていた。綿密な計画を立てて今にいたるわけではないが、壁にぶつかるたびに周りの人と一生懸命考えて前に進んできた。今はたくさんの人との縁を大切に“カブトムシと共に世界を救う”をスローガンに頑張っている。



音楽クリエイター 日景 健貴 氏



もともと苦手だった音楽だが、ステージに立ちたいという憧れが自分を変えてくれた。夢中になって覚えたパソコンの技術が音楽に活かされた。誰かのために作品を作ったり、作ったもので喜んでくれることに生きがいを感じ、インターネットが普及しどこにいても出来るため、生まれ育った大館から発信を続けたい、応援してくれる家族や仲間へ恩返ししたいと活動を続けている。

無駄に思えるものは世界にはたくさんはあるけれど、無駄にしない方法は見つけられるんじゃないか。チャンスはいつも近くにあって、それに気づけるように、視野を広くして色々なことに挑戦してほしい。

翻訳事務所・英語教室 En-Link 代表 三浦 美由紀 氏

小学校の頃、自分の価値観を形成する上で大きな出来事があった。アメリカで起きた大きな事件をテレビで見ている、いつ死ぬかわからない、やりたいことをチャレンジしたいと思うようになり、発想の転換をしてポジティブ思考になることができた。

その後、テレビで放送されていたストリートチルドレンの現状を知って、将来はアフリカ等の発展途上国に行って支援したいという目標ができた。予定通りにいかないこともあるが、目標達成のために発想の転換をしながら着実に進んできた。結婚を機に、北秋田に定住することを考えた時、改めて発想の転換が生まれた。自らが海外へ行くのではなく、行きたいと思う秋田の人を増やそう、育てよう。そう考えている。



ゲストトーク終了後は、参加者が3つのグループに分かれ、それぞれの講師と意見交換する時間を設けました。参加者からは「人生に失敗はないことを教えてもらいました。」「学校でも話してほしい」「オンライン参加でしたが充実した時間でした」「これからの人生観が変わるようなお話でした」という声が聞かれました。



第2回 地域連携ネットワーク会議

2月7日(火) まだ雪も降り続く中、オンラインのみで開催しました。県、県北地区の市町村、地域振興局、あきたF・F推進員、センター運営委員等が参加し、今年度の活動報告などを行いました。地域によって取り組みに特色があり、様々な視点で男女共同参画推進をしていることがわかりました。

令和4年度地域の女性リーダー育成事業の報告会も実施しました。



第2回 利用者懇談会

3月7日(火) センター登録団体、あきたF・F推進員、センター運営委員等が集まり、それぞれの活動を紹介し、1年を振り返りました。あきたF・F推進員の高坂翔氏の話提供「ジェンダーってなに？」をもとに、身の回りのジェンダーについて考える時間を設けました。短い時間でしたが、参加者同士で交流することが出来ました。



◎マスクの着用について◎

3月13日(月) よりセンター利用時のマスクの着用の有無に関しては、個々の判断に委ねることになります。団体利用をしている皆様は、一度話し合いの機会を設けるなどして、気持ちよく利用しましょう。

職員は多くの利用者と接する機会があるので、拡散の可能性を考慮し、引き続きマスク着用を継続いたします。今後の社会情勢に伴って変更がある場合もございます。ご理解・ご協力をお願いします。

「僕の世界はモノクロA4サイズ」展



～4月16日まで

3月14日より大館市在住のアーティスト仲澤嶺也さんの作品展を開催します。3歳の時に重度の自閉症と診断された嶺也さん。消しゴムをほとんど使わずに鉛筆だけで表現される世界観をじっくりご覧ください。

ようこそセンターへ!

雪も解け始めて暖くなった3月上旬、国立女性教育会館NVECより研究員の方々が3名来館し、地域の女性リーダー育成事業で自治会運営アドバイザーを務めた越前貞久氏(大館市御坂町内会 会長)のヒアリングがありました。

2時間に及ぶヒアリングでは、女性の参画でどのように地域が変わっていったか、手作りパワーポイントを使って現在の地域のことを熱く語られていました。今後の活躍にも期待しています!



✿ハーモニープラザ相談室✿

☎相談専門ダイヤル

018-836-7846

月～土曜日

(※土曜日は電話相談のみ)

午前10時～午後5時まで

相談室は秋田県中央男女共同参画センターにあります

●団体活動カレンダー発行中●ホームページでいつでも確認することができます。

発行：秋田県北部男女共同参画センター
(通称：北部ハーモニープラザ)

北部男女共同参画センター 検索

〒017-0842 秋田県大館市字馬喰町48-1
☎0186-49-8552 FAX：0186-49-8589
E-mail：anged1@io.ocn.ne.jp